

かけはし



発行：峡南教育事務所地域教育支援スタッフ

所在地：南巨摩郡富士川町蹴沢771-2

TEL：0556-22-8154

FAX：0556-22-8144

HPでも御覧いただけます。URL <http://www.pref.yamanashi.jp/kyoiku-mk/index.html>

峡南地域教育推進連絡協議会 (地推協) 総会開催

6月24日(水) 身延町総合文化会館において、峡南地域教育推進連絡協議会(地推協)の総会が開催されました。中込会長をはじめ、理事・委員など関係者36名が出席しました。5月に行われた理事会の審議事項に基づき、平成26年度の事業・決算報告、平成27年度の新役員や事業・予算計画等について、慎重な審議が行われ、承認されました。この地推協は、峡南地域の様々な団体の代表により構成され、地域の連携強化や学習機会の充実を図る中で、望ましい教育環境・社会環境づくりを目指すものです。事業の詳細は、早川町教育委員会学校教育課、峡南教育事務所までお問い合わせください。

◆ 平成27年度の主な地推協役員

会長 江本たまき 氏(早川町教育長職務代理者)

副会長 鈴木 高吉 氏(身延町教育長)

副会長 望月 忠男 氏(身延町教育長職務代理者)

副会長 丹沢 公彦 氏(市川高等学校長)

副会長 望月 壮 氏(峡南PTA協議会会長)

かけはし138号の紙面

- p1 峡南地推協総会・異校種連携セミナー・南部地域学校警察連絡協議会
- p2 連載特集『峡南地域の食材』No.10 子育て支援フェスティバル
- p3 海洋道中・砂防教室・高校学園祭
- p4 お田植え体験・どろんこ運動会・人権講演会の御案内



峡南地域 異校種連携セミナー



地推協総会后、同会館2階大会議室にて、峡南地域異校種連携セミナーが開催されました。今年度は、ネット社会における様々な問題やスマホルールの大切さについて、学習を深めることにしました。その内容は、①笛吹高等学校の井上孝悦教頭先生と生徒会役員の皆様による「生徒会によるスマホルールづくりの取組」についての実践発表、②e-ネットキャラバン専門認定講師の原田光久氏による「便利な社会 身近に潜むネットトラブル」についての講演、でした。講演後のアンケートにおいて、どちらも高い評価をいただき、参加者にとって実り多いセミナーにすることができました。講演会の詳細につきましては、次号でお伝えいたします。

ここでもスマホについて … 南部地域学校警察補導連絡協議会



研究会の企画・進行を務めた
仙洞田一郎 身延高校校長

6月16日(火)に、南部地域学校警察補導連絡協議会の定期総会が身延高校「輝葉館」ホールにおいて開催されました。定期総会に先立ち「ケータイ・スマホルールづくりの取り組み」をテーマに研究会が行われました。この研究会には、南部地域各校(小・中・高校)の校長先生、生徒指導担当、南部警察署関係の方々32名が参加し、児童生徒の現状報告や意見交換が行われました。100%の解決策は見つけないものの、ケータイ・スマホをはじめとするネット



社会に学校がどう向き合うべきかの一石を投じたものになりました。予定されていた時間をオーバーするほど活発な意見交換がなされ、まさに小・中・高の異校種間を結ぶ中身の濃い研究会となりました。

★★連載特集 『峡南地域の食材』No. 10

富士川町「みみ」を使った「みみグラタン」

7月10日（金）に富士川町民会館において食改さん向けの学習会が実施されました。そこでのレシピは「みみグラタン」。「みみ」を使った伝統料理を伝承していくこともとても重要ですが、従来の調理方法では塩分量が多いという課題がありました。みみを使用しながら「減塩料理が出来ないものか？」また、「子どもや若い世代にも親しみやすく各家庭で作れるものが出来ないか？」という要望にこたえ、町の特産品である「ゆず」と「みみ」を使った「みみグラタン」を、試行錯誤のうえ昨年度開発しました。この日は、「みみグラタン」の普及・推進を進めていくことを目的として、管理栄養士である山崎なぎささんが講師となり、町内の食改さん37名に説明が行われました。この学習会に参加していた食改さんからは、手軽にできてアレンジもしやすいと好評でした。望月仁美会長は、郷土のものを利用し、お子さんやお孫さん、そして地域の方々に広く伝えてほしいと話していました。



【みみグラタン開発の工夫】

- 従来の、みみ料理に使われる食材と同じ食材を使用するなど、既に地域の方に馴染みのあるみみ料理を思わせるような工夫
- 白味噌を使うことで麦味噌や信州味噌より約半分の食塩を減らすことができ、白味噌の甘味、古くから人々に利用されている味噌の風味を利用することで子供から高齢者まで広い世代に親しまれ、各家庭で作っていただけるような工夫
- みみを一度茹でることでみみに含まれる塩分を流失させる工夫
- だし汁を活用することで、うま味を加える工夫
- 乳製品を使いコクを出し減塩につなげる工夫
- 富士川町の特産物であるゆずと白味噌を加えその豊かな香りを利用した減塩の工夫



【富士川町の食改さん】

平成22年5月27日に富士川町食生活改善推進委員会発足。富士川町の食改さんは現在94名で、減塩に力を入れて取り組んでいます。昨年度は、味噌汁の塩分濃度測定を実施し会員1名が2件の家庭訪問を行い、まとめた結果を持参して勉強会を行いました。また、富士川町交通安全母の会、交通安全協会の方を対象に「薄味に慣れよう！おいしく減塩教室」を実施し、地区の食事会ではできるだけ塩分を控えた食事を提供することに取り組んでいます。さらに、男性料理教室や親子料理教室なども実施したり、子育て世代の方に食の大切さや簡単に作れて栄養のあるおやつを伝える活動にも取り組んでいます。ただ、ここ数年食改さんの人数が減少しており、今年度は富士川町が食生活改善推進員養成講習を実施する予定です。

子育て支援フェスティバル（市川三郷町子育て支援ネットワーク連絡会）



（はいはいコンテスト）



（新聞紙・風船プール）

5月23日（日）町民体育館において、町内17の関係団体（子育て支援ネットワーク連絡会）が一堂に会し、子育て支援フェスティバルが開催されました。親子が一緒に遊ぶことの楽しさを感じてもらおうこと、子育て支援に関する町の施策や様々な団体の活動を知ってもらうことが主な目的でした。特設ステージでは、はいはいよちよちコンテストや市川高校吹奏楽部のコンサート、レジャー体操などが行われました。また、会場には、人形劇、ちびっこ写真展、体重測定、新聞プール・風船プール、記念手形やぬり絵、伝承遊びやつみき遊び、手づくりおやつ、起震車体験などたくさんのコーナーが設けられていました。会場いっぱい子どもたちの歓声が響き、たくさんの笑いと和やかな雰囲気会場を包んでいました。このイベントには、町内の4つの中学校の生徒さんたちもボランティアとして参加して、会の運営や子どもたちへの支援に関わっていました。中学生にとっても、人の役に立つ喜び、また、小さい子どもとの関わり方を学ぶ貴重な機会であったように思いました。



（お話の会トトロの人形劇）



（レジャー体操）

フロンティア・アドベンチャー「やまなし少年海洋道中」八丈島8泊9日



(峡南地区抽選会)

県教育委員会社会教育課の主要事業の一つ、第28回フロンティア・アドベンチャー「やまなし少年海洋道中」が、8月1日(土)～9日(日)の9日間、八丈島にて開催されます。大自然の中でのキャンプ生活、スノーケリング、八丈島一周踏破、クルージング、八丈島の小中学生との交流活動など充実した内容となっています。今年度は50名(男女各25名)の定員に対して、83名の応募があり、各地区で抽選会を開催することになりました。



(昨年度の活動の様子)

峡南地区は男子3名・女子2名の定員に対して9名の希望者がありました。31日(日)中富総合会館にて、厳正な抽選を行った結果、次の5名が内定者として決まりました。増穂中3名、南部中1名、梨大付属中1名でした。せっかく応募していただいたのに希望に添えなかった人たちが多く出てしまったことを申し訳なく思っています。内定者の皆さんは、この人たちの思いを心に留めながら、9日間の数々の体験活動に積極的に取り組んでほしいと思います。リーダーとして心身ともに大きく成長した姿に会えることを楽しみにしています。

「みんなで防ごう土砂災害」移動教室 大河内小にて開催



6月19日(金)大河内小学校の5学年児童を対象に移動教室が行われました。6月は土砂災害防止月間であり、土砂災害とその防止への理解と関心を深めることがこの教室の目的でした。当日は、峡南建設事務所身延河川砂防管理課の方々の指導の下、講話やビデオ鑑賞を通して、次のことを学んでいきました。

①土砂災害とその防止のしかた、②川遊びの紹介と川に入るときの留意点、③簡易雨量計の作成や雨量と災害の関係等です。

学校周辺にも砂防ダムが多く見られますが、砂防堰堤模型を使った実験により、働きや有効性がとてもよくわかりました。また、災害から身を守るためには、大雨などの情報や災害発生の前兆に十分に留意すること、普段から危険箇所の把握と避難準備の備えをしておくことなどが大事であると話されました。真剣な表情で講師の先生の話に耳を傾ける児童の姿に、身近な問題として進んで学ぼうとする意欲を感じました。



高等学校学園祭

県立市川高校 「龍膽祭」(りんどうさい)

昨年度、創立100周年を迎えた市川高校(丹沢公彦校長)は、今年度新たなスタートをきることを意味した「Restart」をテーマに、第62回「龍膽祭」を6月24日(水)、25日(木)に実施しました。初日は音楽部と吹奏楽部の発表を皮切りに、模擬店・クラス展示・各部委員会展示、そしてクラス対抗の合唱コンクール等が行われました。翌日には、クラス対抗のど自慢やダンスコンテストが披露され、体育館には生徒・教職員の他に保護者等(約200名)が来校し興奮は最高潮に達しました。



この学園祭を通じ、クラスの団結を深めると共に市川ファミリー「if」の絆で結ばれた全校生徒446名の未知なるパワーを感じることができました。

県立身延高校 「身高祭」(しんこうさい)

総合学科高校として3年目を迎えた身延高校(仙洞田一郎校長)は、7月1日(水)～3日(金)、第66回「身高祭」を実施しました。身延町総合文化会館ホールにおいて、オープニングセレモニーに続き、吹奏楽部、演劇部、1年生合唱、2年生創作ダンス、3年生創作劇の発表が行われました。2日目は会場を学校体育館に移し、身高コレクション、模擬店、クラス企画等を、3日目は、体育部門が行われました。今回のテーマは、「colorful」生徒279名それぞれが自分色を見つけ、色を作り、



自分色で人生のキャンパスを描いて行こうという意味が込められています。身延高校の今後の活躍がとても楽しみに思える3日間となりました。

「お田植え体験」



市川南保育所



(次々と植えるよ)



(指導を受けながら)

6月8日(月)、市川南保育所(中澤理恵所長)の年長児10名がお田植えに挑戦しました。この行事は、はじめて10年ほどになります。保育所から歩いて10分ほどの鰯沢口駅西側に用意された田で行われました。ここは、地元の開田組合が管理しており、当日も3名の方々が田植え指導に来られました。「お願いします。」と元気に挨拶をしたあと、年中児が見守るなか(見学)、年長児達は次々と田んぼに入って行きました。慣れない泥んこに足をとられる園児もいましたが、一生懸命に苗を植え、開始から30分程で予定されていた作業を終えて園児たちは、満足そうな表情を浮かべていました。当日は、開田組合の方々の他、園児の親や祖父母、それに駐在所のお巡りさんまで駆けつけ、園児を地域ぐるみで育てている姿を目の当たりにすることができました。今回植えた苗は餅米で、秋に収穫した後、保育所に届けられ12月の餅つき大会で園児達に振る舞われる予定です。



(慣れてきて笑顔も)

「どろんこ運動会」

たんぽぽ子どもの家

6月15日(月)、清々しい青空の下、たんぽぽ子どもの家(富士川町:海野輝男園長)において、毎年恒例行事「どろんこ運動会」が盛大に開催されました。田植え前の水をはった田を使って、かけっこ・サーキット宝



ひろい・大玉転がし・綱引き・どろんこフラッグ、など盛りだくさんの種目を行いました。園児たちは、全身泥だらけになりながらも、歓声をあげて田の中をかけまわり、様々な種目に果敢に挑戦していました。軟らかな土や茶色く染まった水、珍しい感触を体中で感じて楽しんでいるような感じがしました。年長の「くじら組」の園児たちは、満面の笑みを浮かべ、「運動会はとっても楽しい」「ぐにゃつとしておもしろい」「水が冷たくて気持ちいい」という感想を聞かせてくれました。この園では、保育方針の一つに「豊かな感性を育むために、地域の自然や文化の中で豊富な体験をする」とあり、この「どろんこ運動会」もその一つとなっています。「乳幼児期は、五感を育む大事な時期であり、豊かな自然体験を重ねていくよう努めている」と園長先生も話してくれました。この園では、園児が籾から苗を育て米を収穫する体験、様々な野菜の栽培を通して成長や収穫を楽しむ体験、季節に応じたお団子や草餅・柏餅づくり、梅漬け・干し柿・親子で味噌づくりなどの食育にも取り組んでいるそうです。



☆☆☆ 人権講演会の御案内 ☆☆☆



- ◇日時 平成27年8月17日(月) 午前10時55分~(受付 午前10時20分)
- ◇会場 市川三郷町歌舞伎文化公園内ふるさと会館(市川三郷町上野3158)
- ◇内容 講演 「いじめって何ですか?」—いじめに対する大人の認識を考える—
講師 NPO法人ジェントルハートプロジェクト 理事 小森美登里氏

※高校入学間もない、一人娘の香澄さんを、いじめによる自殺で失う。その後、いじめのない社会、あたたかい教室を目指して、全国各地を巡り、講演会や学校での授業等で、精力的に活動を進めている。講演回数はすでに1000回を超え、著書も数冊発行している。元文部科学省いじめ問題アドバイザー、滋賀県いじめ問題対策連絡協議会委員などを歴任されている。(詳細は、NPO法人ジェントルハートプロジェクトHPを参照)

- ◇申込み 峡南地域のどなた様でも参加いただけます。席に限りがありますので必ず事前の申込みをお願いします。8月7日(金)までに、ご連絡ください。
- ◇申込先 山梨県教育庁 峡南教育事務所 地域教育支援担当 佐藤・田代
(TEL) 0556-22-8154 (FAX) 0556-22-8144
(eメール) satou-uwrh@pref.yamanashi.lg.jp (佐藤)

